

の二方針を以つて進むことを決定。
2、關係市町村當局の運動

a、八幡市

在京中の議員團を應援し、中央當局へ運動の爲八幡市長は二月十七日夜發上京せり。

b、製鐵所二瀬出張所關係市町村

飯塚市、二瀬町、幸袋町、穗波村、稻築村及び鎮西村の六ヶ市町村長は二月八日飯塚市役所に於て合同反對を申合せ、

商工大臣宛並に縣選出代議宛

◎今期議會に上^提せむとする製鐵合同案は關係地方の經濟に影響する所甚大にして住民の不安を招來するや必せり仍て本案の實現に贊成する能はず右特に御

考慮を乞ふ。

の電報を發送すると共に、二月十日政民兩黨縣支部の盡力を依頼し且つ中央方面に陳情運動の爲二月十四日發上京せり。

七、結論

主として舊勞大黨の戰術對抗上勢ひ強硬態度を以て全従業員の反對熱を煽り立てた舊社民黨に於ては、愈々合同法案の議會提出期か切迫すると共に、從來の行懸り上、依然最後迄絶對反對の態度を以て突進するか、或は亦適當なる時期を捉へて^{可成}速かに既得權確保に方向轉換をなすかの岐路に立つに至り其の何れかの態度に決定せざるを得なくなつたのであつて、右二様の態度に付き相當議論ありと傳へらるゝも、最高幹部の胸底はゼネストを避けて既得權確保